

愛知スキー協通信

No.279

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2018年 5月 1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail : aichiskikyokai@yahoo.co.jp (月1回発行)

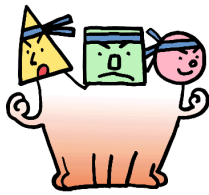
http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集クラブ：深雪スキークラブ

スキーシーズンの終わり

「自分の目標 覚えていますか？」



文責 愛知スキー協 理事長・技術委員長兼任 寺田 康男
(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクト メンバー)

初滑り参加者には、自分の決めた技術テーマを書いて提出してもらいました。シーズンが終わったら、どれくらい達成できたかも含め、自分の決めたテーマにそって文章でレポートを書いて提出してくださいとお願いしました。また、通信でも訴えましたので、是非多くの人の文章がでることを望みます。

文章は、たとえ1行でもかまいません。文字に起し他人に伝え、教え合うことが、今期の愛知スキー協の総会決定でもあります。提出は寺田のメールアドレスまたは、スキー事務所の提出箱に、出来れば5月10日までにお願いします。愛知スキー協会総会までにはお願いします。

寺田のメールアドレス yasuohiromi@mta.biglobe.ne.jp

初滑り参加者40名中18名が何らかのレポートを提出しその中で「今シーズンのあなたの技術テーマ」に記入してくれた人は、5名でした。スキー協会員にレポートの提出及び公表の義務はありません。しかし、せっかくスキークラブに所属しているのなら、スキーの技術力向上の目標とスキーの話題はしてもらいたいです。自分の名前と、自分の技術テーマと、その到達点をメモ書きし、公表出来る人が何人いるかは、この通信が実際にどの程度読まれ、会員に納得される実力がどれほどあるかどうかを考える一つの指針になる気がします。

東海ブロック 拡大役員会 日時：5月19日(土)

会場：なかちゃんハウス(江南)

(ブロックの今後を知りたい人は誰でも参加できる集まりです)

「来期の東海ブロックを面白くするために」(チラシ参照)

お力添えを頂きたい方を勝手に指名して案内状を送りました。案内されていない人も参加ください

第1部 13:00~14:00

「新教程の面白さについて」

- ・技術部会報告および室内実技
- ・シーズン中のみんなの認識違いについて



4/14・15 全国技術部会 足裏切替え 畳上実技風景

第2部 14:20～15:20

「面白いブロック行事を目指して、どう伝える」

- ・スポーツの楽しめる交流学習会について
- ・初滑りとスノーフェスティバル及びその他

第3部 15:40～17:00

「組織存続のためのおもいはなし」

- ・各県の現状と魅力作りと未来について（新たな組織形態の模索）
- ・どうしたら、みんなでスキーが楽しく、上手く、長く、安全に出来るか



春はザラメ雪の山スキーへ

3/31 毘沙門岳 1386m（北美濃） 4/1 三方岩岳 1736m（白山山系）

ぶなの木 米田

3月に入り高温続きの天候で雪解けが少し心配でしたが、3月31日（土）、4月1日（日）はぶなの木と岐阜のアспенさんと合同で毘沙門岳、三方岩岳に山スキーに行ってきました。

3/31（土）参加者10名、風もなくいい天気、まずは白鳥スキー場のリフトに乗ってグレンデトップへ。そこから雪化粧した北アルプスや近郊の山々、絶景を見ながらのハイクアップを楽しみました。でも毘沙門岳の山頂手前に来たら、尾根に雪がなく表層雪崩の跡もあり、土の見えるドロドロの夏道をスキーを担いで登ることになりました。頂上に着いてもポカポカ陽気でゆっくり景色を楽しんでから、雪の割れ目に気をつけ、思い思いに滑走を楽しみました。

毘沙門岳は高低差が少なく、少し簡単に思っていたのですが、帰り道も登り返しがあり、なかなか充実した山スキーとなりました。



毘沙門岳頂上

車で1時間ほど移動して、白川郷の宿で1泊。

翌日4/1（日）参加者6名、この日もいいお天気で今度はガイドさんの案内で三方岩岳へ。三方岩とは頂上付近で加賀岩、飛驒岩、越中岩が三方向に向いているとのことでした。

前半はブナ林の中、急な登りが続きましたが、上部は開けて頂上や野谷荘司山を見ながらの楽しいハイクアップでした。でも1ヶ所、頂上直下のトラバースで雪割れがあり、一人ずつ板を外して登る所があり、緊張しました。

滑降はいい具合のザラメ雪の中、皆さん快適な滑りを楽しんでおられました。私は下部のブナ林の大きなツリーホールにちょっと苦戦しましたが。

三方岩岳、山スキー2年目の私は高低差1000メートルの山は初めてでしたが、登り応えも滑り応えもあり、とても楽しかったです。

4/10 焼石岳 1548m (岩手) 4/12 栗駒山 1626m (岩手と宮城県境)

ぶなの木 浅井

今回の4/10 焼石岳・4/12 栗駒山の山スキーは岩手のジョイフルスキークラブと岩手スキー協のみなさまに、山を案内して下さる方や宿の手配など本当にお世話になり、ありがたく思っています。昨年は岩手の八幡平を案内していただき、連続2年です。

4/9 (月) 自宅 4時半出発。約800kmの岩手県へ4人で車を走らせ、午後4時半、岩手県の焼石クアパーク「ひめかゆ」に到着。ジョイフルスキークラブと岩手スキー協のみなさんと合流、明日の焼石岳の打ち合せをして、夕食交流会。
「ひめかゆ」泊

4/10 (火) 焼石岳 参加者14名 (愛知ぶな6 岩手6 東京2)

時間切れで残念ながら頂上には着けませんでした。「ひめかゆ」泊

4/11 (水) 移動日 世界遺産の中尊寺見学

「ハイルザーム栗駒」泊

4/12 (木) 栗駒山 参加者12名 (岩手3 愛知6 東京3)

「ハイルザーム栗駒」泊

4/13 (金) 1日かけて帰ってきました。pm9時、自宅着

参加者の感想です

*「焼石岳は50年来の夢だった。仙台生れなので東北の山はだいたい滑ったが焼石は地形が複雑で行けずにいた。加藤さんのすばらしい案内があり、今回行くことができた」

*「焼石はアプローチの長い山で、銀名水避難小屋の上の急斜面を登ってやっと頂上が見えてきた。花の百名山の一つだそうで、花の季節のもう一度来たい。栗駒山は秋に登ったとききれいな山だと思った。雪が適度に緩んで滑るにはちょうどいい斜度と斜面、登りの時間も適当でのんびり行けた」

*「行ったことのない山に行きたいと思っていた。焼石も栗駒も初めて。焼石みたいに難しい山に行けたのも良かった。地元東北のエキスパートの方に案内してもらえ、しかも仕事を休んできてくれてありがたかった。ぶなの木の依頼に応じて企画してもらったのは全国組織のスキー協に入っているおかげです。」

*「スキーも良かったが、東京の人にスマートフォンのアプリでGPS機能を使えることを教えて貰い、全国の地形図がスマホで見えるようになった。目からうろこでした。」

私は焼石も栗駒も初めてで、焼石はアプローチが長いと須藤さんに聞いていて銀名水避難小屋まで行けばいいと思っていましたので、もう少し登り焼石岳を見ることが出来、大満足でした。下りは前日に降った雪で難しく、ぶなの林をボーゲンで滑ってしまいました。栗駒はちょうどいい雪と斜面で楽しく滑ることが出来、うれしかったです。

また、栗駒を案内して下さった気仙沼の方の2011/3/11の大震災で自宅などすべて流されたつらい体験と、その後の登山とスキー復帰のお話で、スポーツ・文化が人間が生きていく上で必要なものなんだと感じました。

今回は4泊5日の温泉宿(安くていい宿を紹介していただきました)、中1日の休養日ありと、私たちの年代にぴったりの山スキー行でした。ぶなの木の参加者全員が岩手スキー協のおかげで楽しい山スキーが出来た満足して帰ってきました。

ただ一つ残念だったのが尿前溪谷、石淵トンネルの前のゲートが1日前に開かなかったことです。4/10 到着いたらゲートは4/28から開くと書いてあり、約50分の道路アルバイト、焼石から下りてきたらゲートの表示が4/11 明日から開くと変更になったいるではありませんか。ショック! 今日から開いていたらもう少し楽だったのに!



焼石岳の頂上をバックに

東海ブロック協議会拡大役員会

2018年5月19日（土）13:00～17:00

主催 全国勤労者スキー協議会・東海ブロック協議会

誰でも参加できます

場所 「なかちゃんハウス」 江南市力長町神明108
宿泊も可、5/20（日）8時30分解散



内容

第1部 13:00～14:00

- 「新教程の面白さについて」
- ・技術部会報告および室内実技
 - ・シーズン中のみんなの認識違いについて

第2部 14:20～15:20

- 「面白いブロック行事を目指して、どう伝える」
- ・スポーツの楽しめる交流学習会について
 - ・初滑りとスノーフェスティバル及びその他

第3部 15:40～17:00

- 「組織存続のためのおもいはなし」
- ・各県の現状と魅力作りと未来について（新たな組織形態の模索）
 - ・どうしたら、みんなでスキーが楽しく、上手く、長く、安全に出来るか

第4部 18:00～22:00（番外編）

- ・「新教程」について徹底討論

出欠の有無、宿泊の有無について連絡ください。

* 宿泊代、食事代、風呂（温泉）代について東海ブロックで一部補助をします。

* 電車にて参加される方は名鉄江南駅まで送迎しますので、連絡をください。

申込・問い合わせ先 愛知スキー協会 東 雅夫（携帯）090-7300-2024

アルペン競技用語解説②

アルペンでは、雪面にポールを立ててコースを作ることを**セット**と言います。

セットする人がセッターです。今年のスキー協の全国競技会では寺田康平君がセッターをして、三宅秀和さんが手助けに行きました。東海ブロックの貢献大でした。

アルペン競技は、DH（ダウンヒル）＝滑降、SG（スーパージー）＝スーパー大回転、GS（ジャイアントスラローム）＝大回転、SL（スラローム）＝回転となっています。DHとSGは高速系といわれGSとSLは技術系と言われています。滑降と回転の総合で争うアルペン複合という種目もあります。

愛知県スキー連盟では「中回転」＝MSLなる種目を実施しています。最近フリースタイルスキーやボードもオリンピック等新種目が増えていきますね。カーリングもミックスが話題になりました。